

 **ORIGIN**

STRIKE COMMANDER PLUS



INSTALL GUIDE PC-9821/9801

■ご注意

●インストール時のサウンドボードの選択について

クリエイティブメディア(株)製 サウンドブラスター16を使用する場合、

I/Oポートアドレス/割り込み番号/DMAチャンネル番号

の値が、本体及び他の接続ボードと重複しないように、ボードのディップスイッチ及び本設定を行ってください。これらの値が正しく設定されていざと、ゲームが立ち上がりません。

本製品は、WSR-G等の音源付きのウィンドウズアクセラレータボードにも対応しておりますがそれらの音源に対応していないものがあります。対応音源についてはパッケージ裏をご覧ください。

●インストール時のグラフィックボードの選択について

・ウィンドウアクセラレータボードをPC-9821シリーズに接続している方は、本設定時には、本体のグラフィックス機能を設定して下さい。

・カノーブス(株)製、Power Window 801Gを使用してのゲーム時に、画面に少々ノイズが走る場合があります。その際には、PC-9801本体からアクセラレータボードへの入力ケーブルを外すと消えますが、この場合MS-DOSの画面が表示されませんのでご注意ください。

●(株)コンピュータテクニカ製 WGS-98をお使いの方は、マニュアルの環境設定をご覧になり、ボードを標準状態にする必要があります。

●本製品は、640x400ドット、水平同期周波数24.8KHzで256色表示のモード(通常のPC-9801/9821の画面モード)を持たないディスプレイには対応していません。

・WCSをご使用の場合、「ダウンロード」という作業があらかじめ必要です。

ディレクトリ¥WGSのSC.ADVをご使用下さい。

「ダウンロード」についての詳細は、WGSのマニュアルをご覧ください。「ダウンロード」に関するご質問、お問い合わせ等にはお答えできませんのでご了承下さい。



ストライク コマンダーPLUS PC-9821/9801版 インストールガイド

はじめに

このたびは、ストライクコマンダーPLUSをお買い上げいただきありがとうございます。
このマニュアルは、インストール方法やゲームスタート方法に関して、記述しております。
ゲームの操作方法はプレイヤーズガイドをご覧ください。

パッケージの内容

製品CD-ROM	1枚
インストールガイド	1冊
プレイヤーズガイド	1冊
ユーザー登録ハガキ	1枚

必要環境（詳しくはパッケージをご覧ください。）

- ・ パッケージに表記のPC9801,PC9821シリーズ本体。
- ・ 日本電気(株)製PC-9801シリーズ用日本語MS-DOS 5.0/5.0A/5.0A-H/6.2のいずれか。
PC-9801シリーズの場合はパッケージに表記のウインドウアクセラレータ
- ・ 本体内蔵の純正フロッピーディスクドライブ1台。
- ・ MS-DOSのドライブとして使用可能な純正CD-ROMドライブ。
- ・ 約15MB以上の純正ハードディスク空きエリア。
- ・ 5.6MB以上のメインメモリ。
- ・ 本体に対応したカラーアナログディスプレイ。
- ・ 純正バスマウス。
- ・ 2HDタイプの新しいフロッピーディスク1枚。

対応周辺機器：

- ・ 日本電気(株)製 PC-9801-86音源ボード
- ・ クリエイティブメディア(株)製 サウンドブラスター16
- ・ (株)コンピュータテクニカ製 WGS-98J/S/G

※音源にはサウンドブラスター16のご使用をお薦めします。他の音源をご使用の場合は
エミュレーション・モードで動作するため、一部音色が変わることがあります。

●インストールの前に

- ・このゲームは、ハードディスクへのインストールが必要です。インストールを行う前に、ハードディスクの空き容量をご確認ください。約15MB以上の容量が必要です。
- ・ハードディスクの普段お使いの環境を変更しなくてもゲームが出来るように、起動用フロッピーディスクを作成いたします。
- ・起動用フロッピーディスクを作成しますので新しい2HDタイプのフロッピーディスクを一枚ご用意ください。

- ※1.前作「ストライクコマンダー」と同じディレクトリ名(¥EAV_SC)で、インストールされます。インストール先のドライブに、同名のディレクトリが存在する場合は、上書きします(前作が入っていた場合は、共存できます)。
- ※2.もしもインストール先のドライブに、前作のインストール以外の目的で、同名のディレクトリがあった場合、そのままインストールするとゲームが誤動作する可能性があります。ご注意ください。
- ※3.本作品「ストライクコマンダーPLUS」をインストールした後で、同じドライブに前作をインストールしないでください。動作不良の原因となります。ちなみに、その逆(発売順)は問題ありません。

●インストールについての注意点

- ・インストーラーはハードディスクの起動したドライブよりMS-DOSのシステム(IO.SYS/MSDOS.SYS/COMMAND.COM)を起動用フロッピーディスクにコピーします。そのため、ハードディスクにいくつかのバージョンのMS-DOSが入っている場合には、正しく動作しない事があります。起動したドライブのMS-DOSだけ(デバイスドライバーを必要としない)で認識可能なドライブへ、インストールしてください。
- ・インストール前にMS-DOSの「CHKDSK」や「SCANDISK」(Ver.6.2に付属)コマンドでハードディスクに異常が無いことを確認する事をお薦めします。またウイルスチェックプログラム(MS-DOS Ver.6.2に付属のウイルスバスター98等)でディスクやメモリにウイルスが無いことを確認する事もお薦めします。本製品プログラムに異常が無くても、ハードディスクに異常があったり、ウイルスに侵されていると、ゲーム中に動作がおかしくなり、ハードディスクが壊れる危険があります。
- ・PC-9821/9801本体の設定で、サウンドの項目は、内蔵音源を使用する場合は「BIOSを切り離す」、拡張スロットに音源ボードをさしてご使用の場合は「使用しない」にし、他の項目は工場出荷時の設定にしてください。

- ・デバイスドライバーなどを組み込まないと認識されないハードディスクにはインストールできません。次のようなものが該当します。

- A. MS-DOS6.2のDoubleSpaceや市販のDiskXII等のディスク圧縮ツールで圧縮されたハードディスク
- B. PCカードスロット用のハードディスク
- C. PCカードスロット用インターフェースを使用したハードディスク
- D. その他デバイスドライバーを組み込まないと認識しないハードディスク

これらの場合、作成した起動用フロッピーディスクがそのドライブを認識できませんので、インストールが無事終了したとしても、ゲームが正常に起動いたしません。専用のデバイスドライバーを起動用フロッピーディスクに組み込むことによってゲームが起動する場合がありますが、空きメモリの関係で動作は保証できませんのでご了承ください。

- ・純正IDEおよび純正SCSIハードディスク以外のドライブ(非純正品や、SASIインターフェースのハードディスク、及びMO等)にインストールする場合、インストーラおよびゲームの正常な動作の保証は出来ません。
- ・SCSIインターフェースボードをバスマスタ転送方式でご使用の場合、正常な動作は保証できません。

3

- ・「CONFIG.SYS」「AUTOEXEC.BAT」などのファイルを標準の設定から変更されている場合は以下の点にご注意ください。

>インストールプログラムがMS-DOSの「FORMAT.EXE」と「SYS.EXE」を使用しますので、このファイルがパスの通ったディレクトリにあることをご確認ください。

>ハードディスクのCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BAT より CD-ROMのデバイスドライバー(NECCD.SYSなど)およびCD-ROM Extensions(MSCDEX.EXE)のあるディレクトリを参照します。そのためCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATにこれらのドライバーの記述が無い場合(例えばADDRVコマンド等によって後から組み込まれる場合など)は正しくインストールされません。

>MS-DOS Ver.6.2に付属のMEMMAKER、I・Oデータ機器(株)製MEMORY SERVERの「LUMB.EXE」や(株)メルコ製MELWAREの「UMBLOAD.SYS」等のUMB最適化ツールによって、CD-ROMのデバイスドライバーが組み込まれている場合、インストーラーが自動認識を誤ることがあります。この場合は、CD-ROMのデバイスドライバー類を起動用フロッピーディスクにコピーし、SEDIT等のテキストエディタで、起動用フロッピーディスクの CONFIG.SYS、AUTOEXEC.BAT を適切な設定にしてください。

>CD-ROMのデバイスドライバーはCD-ROMドライブごとに異なります。弊社ではNEC純正ドライブ以外のデバイスドライバーについてはお答えできません。詳しくはお使いになっているCD-ROMドライブの取り扱い説明書をご覧ください。そのドライブのメーカーにおたずねください。

●インストール方法

- (1)起動用フロッピーディスクを作成しますので新しい2HDタイプのコピーディスクを一枚ご用意ください。
- (2)コンピュータの電源を入れてください。CD-ROMがMS-DOSのドライブとして使用可能になっていることを確認してください。CD-ROMをドライブとして使用可能にする方法については、お手持ちのハードウェアおよびMS-DOSのマニュアルをご覧ください。

- (3)MS-DOSのコマンドプロンプトまたは、「MS-Windows3.1」、「98ランチ」、「MS-DOS シェル(Shell)」、「MS-DOS コマンドメニュー」、その他メニュープログラム等が表示されたならば、ご用意頂いたフロッピーディスクを本体のコピーディスクドライブ1に、製品のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。

※Windowsや98ランチからインストールプログラムを起動した場合、MS-DOSの全画面表示になります。これをWindows表示にしないでください。終了後元の環境に正しく戻れない場合があります。

- (4)この時点で、画面に何が表示されているかによって、操作が異なります。

A. MS-DOSのコマンドプロンプト(「A>」「A:¥>」等)が表示された場合

- 1.CD-ROMの入っているドライブ名を確認してください。(■ドライブ名の確認 参照)
- 2.ドライブ名がわかったらコマンドプロンプトが出ている時にそのドライブ名を入力してください。
例えば「ドライブ Q」ならば「Q:」と入力してください。表示が「Q:¥>」等になります。
- 3.「INSTT098」と入力して[リターン]キーを押してください。

B. MS-Windows3.1の画面になった場合

- 1.グループ「メイン」の「ファイルマネージャー」を起動させてください。
- 2.CD-ROMのドライブアイコンを、クリックしてください。ネットワーク等が接続されていなければ、通常は一番右側に表示されます。

3. CD-ROMのファイルが表示されたならば、「INSTT098.BAT」をクリックしてください。

C. 98ランチの画面になった場合

1. [ファイルマネージャー]のボタンをおしてください。もし見当たらない場合は[グループ]ボタンの「メイン」を押してください。
2. CD-ROMのドライブアイコンを、クリックしてください。ネットワーク等が接続されていなければ、通常は一番右側に表示されます。
3. CD-ROMのファイルが表示されたならば、「INSTT098.BAT」をクリックしてください。

D. MS-DOS シェル、MS-DOS Shellの画面になった場合

1. ドライブ選択ウィンドウの中から、CD-ROMドライブのドライブアイコンを、選択してください。ネットワーク等が接続されていなければ、通常は一番右側に表示されます。
2. ファイル表示ウィンドウに、CD-ROMのファイルが表示されたならば、「INSTT098.BAT」を選択し実行させてください。

E. その他の場合や、上記B.C.D.の方法でうまく行かない場合

MS-DOSのコマンドメニューやその他メニュー画面になった場合、またはB. C. D.の方法でうまくインストールできない場合は、正しい手順で終了させて、MS-DOSのコマンドプロンプトを表示させてください。そしてA.の手順を行ってください。

※CanBeでDOSのコマンドプロンプトの画面が出ない場合は、[TAB]キーを押しながら本体の電源を入れてください。「MS-Windows3.1」、「98ランチ」、「MS-DOS シェル(Shell)」、「MS-DOS コマンドメニュー」、その他メニュープログラム等が表示された場合は、正しい手順で終了させてください。

- (5) インストールプログラムが起動し、メニューが表示されます。

- (6) あとはメニューにしたがって、

「1.ハードディスクにインストールします」

「2.ハードウェアの設定を変更します」

「3.起動用フロッピーディスクを作ります」

の順に行なってください。それぞれの作業が終わるたびに、[MAIN MENU]に戻ります。

■ ドライブ名の確認

※CD-ROMドライブは「AUTOEXEC.BAT」の「MSCDEX.EXE」の「/L:」オプションで指定したドライブ名になります。例えば「/L:Q」となっていればドライブQになります。指定しない場合はハードディスクとフロッピーディスクの後のドライブになります。

・CD-ROMドライブのアクセスランプが消えている状態で「DIR(X^~X)Q:」と入力してください。ここで、

(1)CD-ROMドライブのアクセスランプが点灯すれば、CD-ROMドライブ名は「Q:」になります。

(2) 準備が出来ていません。読み取り中 ドライブ Q
中止(A), もう一度(R), 失敗(F)?

と表示された場合は、そのドライブは恐らくフロッピーディスクドライブかMOドライブと思われます。「A」キーを押すと、コマンドプロンプトに戻ります。

(3) CDR101: Not ready 読み取り中 ドライブ Q
中止(A), もう一度(R), 失敗(F)?

と表示された場合は、CD-ROMドライブ名は「Q:」になります。「A」キーを押すとコマンドプロンプトに戻ります。

※CD-ROMはドライブにセットしてから読み取れる状態になるまでに、しばらく時間がかかります。セット直後のアクセスランプのついている時にアクセスした場合、またはCD-ROMが入っていない場合は上記の様なメッセージが表示されます。

(4) ドライブの指定が違います。
または

無効なドライブの指定です。

と表示された場合は、そのドライブは存在しません。

・(2)や(4)の場合はドライブ名を変更して(先程の「Q:」を「P:」等に置き換えて)、「DIR」コマンドをお試しください。

※これらの表示はMS-DOSのバージョンによっては多少異なる場合があります。また、ドライブ名は、お客様のお持ちのハードウェアの設定によって変わる事項なので、弊社ではお答えできません。詳しくはお持ちのMS-DOSのマニュアルをご覧ください。

●ゲームの起動

- ・作成した起動用フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブ1に、ストライクコマンダーPLUSのCD-ROMをインストール時と同じCD-ROMドライブにセットし、コンピューター本体を起動してください。ゲームが立ち上がり、オープニングデモが自動的にスタートします。

※MIDI機器や外付けCD-ROMドライブをご使用の方は、まずその機器を起動してから、コンピューター本体を起動してください。

- ・FCSやサイバースティックを接続後の最初の起動時には、オープニングデモの前に「Joystick Calibration(ジョイスティック感度設定)」メニューが表示されます。設定は以下の様に行ってください。

- 1.スティックを左上に傾け、その状態のままトリガーを引きます。
- 2.スティックを右下に傾け、その状態のままトリガーを引きます。
- 3.スティックを中央(ニュートラル)に合わせ、トリガーを引きます。

全て正常に終了すると、オープニングデモに移行します。

※1.FCS/MkII WCS/RCS/サイバースティックは接続しただけでは、操縦に使用できません。ゲーム中の実際の飛行場面まで進み、コンフィグレーション画面([GRPH]+[O]キー)を表示させて、サブメニュー「FLIGHT」で設定を行ってください(設定方法はプレイヤーズガイド「コンフィグレーション」を参照してください)。

※2.MkII WCSは、接続するボード(WGS-98J/S/G)に付属のプログラムで設定を行わなければ、正しく動作いたしません。ダウンロードするファイルは製品CD-ROM内、¥WGSの「SC.ADV」をご使用ください。なお、WGS-98J/S/Gの設定に関する質問は、弊社ではお答えできません。ご了承ください。

※3.サイバースティックを使用する場合、MODEスイッチは[ANALOG]でご使用ください。

●ゲームの終了

- ・ゲーム中のセーブ/ロードメニューの中で「QUIT TO DOS」を選ぶか、任意の場所で終了コマンド([GRPH]+[X]キー)を入力し、「ARE YOU SURE?」または「Exit to DOS?」の問いに[Y]で答えてください。

※上記終了手続きを行った後、MS-DOSコマンドプロンプトに戻りますが、そのまま他のアプリケーションソフトが動くかどうかは保証できません。いったん起動ディスクやCD-ROMを抜き、リセットする事をおすすめします。

- ・アクセスランプがどのドライブにも点灯していない事を確認し、起動ディスクやCD-ROMを抜き、電源をOFFにしてください。

●ハードウェア設定の変更

1. インストール方法(2)～(5)と同様に、インストールプログラムを起動してください。
2. 「2.ハードウェアの設定を変更します」を選んでください。あとは画面の指示に従って、各種ドライバをお客様の環境に合わせて設定してください。

●「ストライクコマンダー」のアップデートについて

本製品には、前作「ストライクコマンダー」のアップデート(機能拡張)プログラムが入っています。これを実行しますと、ゲーム内容はそのまま、「ストライクコマンダーPLUS」が対応している、すべてのウィンドウアクセラレータボードや音源やジョイスティックが「ストライクコマンダー」で使用できるようになります。

1. 「ストライクコマンダーPLUS」のCD-ROMを、CD-ROMドライブにセットしてください。
2. インストール方法(2)～(4)の途中まで操作は同じです。ご使用のコンピューター本体の起動後の画面の状態が、MS-DOSコマンドプロンプトの場合はCD-ROMドライブをカレントドライブにし、それ以外の場合はCD-ROMアイコンを選択してください。
3. アップデートプログラムの起動コマンドは[UPDATE98.BAT]です。ご使用のコンピューター本体の起動後の画面の状態が、MS-DOSコマンドプロンプトの場合は[UPDATE98](リターン)と入力し、それ以外の場合はファイル[UPDATE98.BAT]を選択・実行してください。
4. アップデートプログラムが起動します。以下のメニューが表示されます。

「1.Strike Commanderをアップデートします」

「2.ハードウェアの設定を変更します」

「Q.DOSに戻ります」

上から順に画面の指示に従って行なってください。「1.」・「2.」それぞれの作業が終わるたびに、[MAIN MENU]に戻ります。

- ※1. 予め前作「ストライクコマンダー」が、インストールされている必要があります。
- ※2. 実際のアップデート作業中([INSTALL to HARDDISK 3/4])に[ESC]キーを押すと、アップデートが不完全なまま終了します。ご注意ください。
- ※3. 「2.ハードウェアの設定を変更します」を行わないと、環境設定ファイル([SC.CFG])が更新されない為、最新のドライバを使用できません。必ず実行してください。
- ※4. 以後の「ストライクコマンダー」の起動には以前同様、前作の媒体(FD版=起動ディスク、CD-ROM版=CD-ROMと起動ディスク)を使ってください。
- ※5. 但し、以後の「ストライクコマンダー」の環境設定の変更は、このアップデートプログラムで行ってください。

●注意事項

☆再インストールについて

- ・インストールを途中で中止したり、CD-ROMの読み込みに失敗した場合、不完全な形でインストールが終了してしまいます。起動用ディスクと本作のCD-ROMで正常にゲームが起動しない場合は、インストールを初めからやり直してください。
- ・インストールをやり直す場合、その前に、前回インストールをおこなったハードディスク上のストライクコマンダーPLUSをすべて削除するようにしてください。インストールしたドライブの¥(ルート)ディレクトリの「EAV_SC」をディレクトリごと削除してください。
- ・同じドライブ(ディレクトリ)に前作「ストライクコマンダー」が共にインストールされている場合、「EAV_SC」のディレクトリを削除すると、その前作まで削除されてしまいます。前作をプレイされる場合は、前作を先にインストールし直してください。
- ・「ストライクコマンダー」のセーブファイルの名前は[*.SAV]、「ストライクコマンダーPLUS」のものは[*.TO1]です。セーブファイルを消したくない場合には、これらのファイルを他の場所に待避しておいて、再インストール後に戻してください。

※ハードディスクの不調等でインストールし直す場合、複数のハードディスクドライブをお持ちの方は、削除の後、別のドライブにインストールを行う事もお勧めします。

※上記の削除の課程で、誤って他のファイルを削除してしまった場合の責任は、弊社では負えません。ご注意ください。

★ハードウェアの各種設定を工場出荷時設定から変更している場合の注意点

- ・弊社では各ハードウェアについては工場出荷時の設定で動作確認を行っております。インストールプログラムやゲーム本体が正常に動作しない場合は、各種メモリスイッチやディップスイッチが変更されていないかをご確認ください。
- ・ただし「サウンド」の項目は、内蔵音源を使用する場合は「BIOSを切り離す」、拡張スロットに音源ボードをさしてご使用の場合は「使用しない」にしてください。
- ※うまく動作しない場合は、ゲームに関係しないハードウェアやソフトウェアを、出来るだけ外してみる事もお勧めします。

☆ゲームからMS-DOSへの復帰について

本作品はゲームを終了してMS-DOSコマンドプロンプトへ戻る事が可能ですが、そのまま他のアプリケーションソフトが動くかどうかは保証できません。いったん起動ディスクやCD-ROMを抜き、リセットする事をお勧めします。

★ウィンドウアクセラレータやサウンドボードをご使用のかたへ

工場出荷時の設定を変更されている場合は、その各種設定値(割り込みレベル、ベース I/O アドレス、DMA チャンネル等)をよく調べておいてください。ボードによってはインストーラー内でその値を入力する場面があります。これらの設定の変更については弊社ではお答えできません。ハードウェア付属のマニュアルをご覧ください。また、できるだけ工場出荷時の設定のままでご使用になることをお勧めいたします。

※1. 拡張スロットに差すボードにスイッチピンがついていて、そのピンが可動式の場合は、その設定が正しいかお確かめください。

※2. PCIバスの機械(Xt, Xa, Xfなど)で、拡張スロットに新しくボードをさした場合は、「PCIセットアップディスク」で設定を行ってください。

※3. ウィンドウアクセラレータボードとディスプレイとの相性によっては、画面が表示されない場合があります。必ずウィンドウアクセラレータボードに対応したディスプレイを、ご使用ください。

☆サウンドブラスター16をご使用の方へ(～上記に加えて～)

・サウンドブラスター16を初めて導入する時、またはサウンドブラスター16音源を使用してうまく動作しない場合は、サウンドブラスター16に付属の「TESTSB16.EXE」または「DIAGNOSE.EXE」でベース I/O アドレス、IRQ(割り込みレベル、INT)、DMA チャンネルを調べて、これらの値が他のボードと衝突していないか良く確認のうえ、インストールプログラムで設定してください。

※値が衝突したままゲームを起動すると最悪の場合、ハードディスク内のデータを破壊してしまう恐れがあります。ご注意ください。また、この場合の責任は弊社では負えません。

・THRUSTMASTER社製 Mk II W C S (Mark II Weapons Control System) は、様々なバージョンが存在するため、すべての Mk II W C S での正常な動作は保証できません。WGS-98J/S/G と接続して、正しくダウンロードやキャリブレーションが行われた物のみ、保証致します。それらの段階で動作不良の場合は、ハードウェアメーカーにお問い合わせください。

・サウンドブラスター16のジョイスティックポートでTHRUSTMASTER社製 F C S (Flight Control System) 等をお使いの場合、一部の高速なCPUでは正しく動作しない事があります。

・IBM PC/AT互換機用のジョイスティックは、様々なバージョンが存在する為、正しく動作しない場合があります。

★READMEファイルについて

製品のCD-ROMのルートに、README.TXTが入っています。このREADMEファイルには動作環境の変更等の非サポート情報が記されております。README.TXTはDOSに付属されているSEDITなどのエディタでご覧になれますが、これに関するご質問等はご遠慮くださるよう、お願いいたします。

☆その他の注意事項

- ・低速なCD-ROMドライブでもフルインストール(約75MB)すれば、ゲーム中のファイルの読み込み時間を短縮できます。
- ・CD-ROMはデリケートなものです。読み込み不良を起こさないように、定期的にCD-ROM媒体やドライブを、市販のクリーニングキットで掃除する事をおすすめします。
- ・PC-9821Xシリーズの内蔵音源はFM音源を持っておりませんので、そのままではBGM/効果音等はお楽しみになれません。
- ・CanBeをお使いの場合、効果音や声にノイズが入ることがありますが、ゲームの進行には差し支えありません。ご了承ください。
- ・搭載メモリが5.6MBに満たない機種では、純正メモリを増設してください。
- ・拡張I/Oボックスを経由して周辺機器(音源ボード/CD-ROMドライブ/ハードディスク等)を使用した場合、正常な動作は保証できません。
- ・NEC PC-9821/9801シリーズ以外の機種、記載製品以外の周辺機器、DOS、1995年3月下旬以降に発売された機種、CPUアクセラレータやオーバードライブプロセッサ等をご使用の場合、動作の保証はできません。また互換機・改造機での動作も保証外です。
- ・お客様が本ソフトウェアを使用した事により生じた如何なる事態にも、当社は一切の責任を持つものではありません。

●操作リファレンス

キーボード

兵器

[.]	フレアの発射
[スペースバー]	兵器の発射
[.]	チャフの放出
[W]	次の兵器を選択
[G]	A C Mモード
[T]	照準から遠い敵を捕捉
[GRPH] + [W]	兵器を表示する（外部から自機を見ているとき）
[SHIFT] + [T]	照準から近い敵を捕捉
[CTRL] + [W]	選択されている兵器の投棄
[CTRL] + [T]	捕捉を解除する
[SHIFT] + [W]	空対地兵器をすべて投棄
[Y]	標的を追跡

航行、操縦

[1] - [5]	ミリタリー（通常）エンジンパワー 20%づつ増加
[6] - [0]	アフターバーナパワー 20%づつ増加
[^]	エンジンの出力を上げる
[-]	エンジンの出力を下げる
[STOP]	エンジンを切る
[←] [↶] [↑] [↓]	自機の操縦（Pitch,Roll）
[.] , [<]	ラダー 左へ
[.] , [>]	ラダー 右へ
[B]	ブレーキのオン／オフ（エアブレーキまたはホイールブレーキ）
[F]	フラップの上げ／下げ
[L]	車輪の上げ／下げ
[A]	オートパイロット（waypointまで）、自動離陸、自動着陸
[N]	ナビゲーションマップを開く
[S]	計測／実測対空速度の切り替え
[CTRL] + [E]	脱出
[CTRL] + [I]	飛行中、コクピットの表示をHUD、MFDのみにする

マルチファンクションディスプレイ（MFD）

[C]	通信システム
[R]	レーダー（使う兵器によってレーダーモードが変わる）
[D]	ダメージディスプレイを見る
[K]	空対空レーダーで標的を追跡
[F8]	ガンカメラ MFD
[I]	拡大
[J]	縮小

カメラ

[←] [↶] [↑] [↓]	回りを見る（オプションで選択している時）
[F1]	コクピットカメラ
[F2]	追跡カメラ

[F3]	コクピット左方カメラ
[F4]	コクピット右方カメラ
[F5]	コクピット後方カメラ
[F6]	外部カメラ
[CTRL] + [F6]	地上目標物映像
[F7]	自機から目標機／目標機から自機
[F8]	ガンカメラ (MFD)
[F9]	破壊確認カメラ オン／オフ
[F10]	ウェポン・カメラ オン／オフ
[I]	レーダー映像の拡大
[J]	レーダー映像の縮小

ゲームのインターフェース

[GRPH] + [J]	ジョイスティックの感度を調整する
[GRPH] + [M]	音楽 オン／オフ
[GRPH] + [O]	コンフィグレーションを開く
[GRPH] + [P]	ポーズ オン／オフ
[GRPH] + [S]	サウンド オン／オフ
[GRPH] + [X]	Dosに抜ける
[GRPH] + [E]	飛行中、エンジン音のオン／オフを行います。
[SHIFT] + [TAB]	時間の経過を早める。1倍、2倍、4倍
[TAB]	時間の経過を早める。6倍（押し続けている間）
[→] [←] [↑] [↓]	オブジェクトビューアー内のオブジェクトを回す

マウス（パンニング）

マウス	回りを見る（マウス以外で操作をしている時）
左ボタン	前方を見る

マウス（操縦）

マウス	操縦
左ボタン	兵器の発射

THRUSTMASTER FLIGHT CONTROL SYSTEM (FCS)

サウンドプラスター16又はWGS-98が必要です。

Main joystick	自機の操作
HAT Switch	回りを見る（オプションで選択している時）
Trigger	兵器の発射
Top button	兵器の選択
Mid button	照準から遠い敵を捕捉（WCS経由の場合レーダーON/OFF）
Low button	コクピット画面に戻る

MARKII THRUSTMASTER WEAPONS CONTROL SYSTEM (MkII WCS)

WGS-98が必要です。

Button 1	フレア
Button 2	チャフ
Button 3	照準から遠い敵を捕捉
Button 4	ダメージディスプレイON/OFF
Button 5	フラップのON/OFF

Button 6	ブレーキON/OFF
ロッカー上	通信システムON/OFF
ロッカー中	(使いません)
ロッカー下	ACMモードON/OFF

サイバースティック

PC-9801-86ボードが必要です。

スティック	自機の操作
スティック部トリガーA	武器選択
スティック部トリガーB	武器発射
スロットル	エンジン出力
スロットル部トリガーD	ターゲット切り替え
スロットル部トリガーE1	ブレーキON/OFF
スロットル部トリガーE2	フラップON/OFF
本体トリガーA	ラダー左
本体トリガーB	ラダー右
本体トリガーC	チャフ
START	フレア
SELECT	コクピットカメラ

〈MEMO〉



〈MEMO〉



◆カスタマーサポートについて

お買い上げ頂きました製品のご使用上で、異常が確認された場合や、お客様の誤操作でメディアを破損した場合は、調査の上、下記の要領でサポートさせていただきますので、弊社カスタマーサポート係にお送りください。尚、サポートさせて頂く時には、ユーザー登録を確認致しますので、登録がお済みでない場合は、登録ハガキを必ずご同封ください。

1. 製造段階での問題など、弊社の責任による異常の場合は、無償交換させていただきます。
2. お客様の誤操作によるメディア破損の場合は、有償交換させていただきますので、所定の料金分の郵便為替を無記入の状態で弊社までお送りください。

C D - R O M 1 枚 ¥3,090 (税・送料込み)

(価格は変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。)

3. 製品の確実な調査のため、お客様がご使用の環境（マシン名、メモリ、その他増設しているものなど）と、異常の状態を詳しく記したものをご同封ください。調査内容によっては、多少時間を頂く場合もございますので、ご了承ください。

その他、不明点がございましたら、弊社カスタマーサポート係まで、ご連絡くださいますようお願い致します。

- ☐ 品質には万全を期しておりますが、万一製造上の原因による不良がありました場合には新しい製品と取り替えいたします。
- ☐ 本ソフト使用により生じたいかなる事態にも、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ☐ ゲーム内容（ヒント、攻略方法など）につきましてのご質問にはお答えしておりませんのでご了承ください。
- ☐ ご使用のハードウェア、周辺機器の設定につきましては各ハードウェアメーカー、販売店にお問い合わせください。弊社ではお答えできません。
- ☐ DOSのコマンドにつきましては、弊社ではお答えできません。
- ☐ この商品についてのご質問は弊社カスタマーサポート係までご連絡ください。

03-5410-3100 月～金 12:00～16:00 (年末年始・祝祭日を除く)

このソフトウェア、マニュアルは著作権法で保護されています。あらかじめ著作権者から文書による許可を得ずに転載、複製することを禁止します。

このマニュアルに記載されている内容は予告なく変更することがあります。

© 1992/1995 ORIGIN Systems, Inc. Strikecommander is a trademark of ORIGIN Systems, Inc.

Origin is a trademark of ORIGIN Systems, Inc.

© 1995 Electronic Arts.

この製品には株式会社満開製作所からライセンスされた要町フォントを使用しています。

発行 エレクトロニック・アーツ・ビクター株式会社

〒150 東京都渋谷区神宮前2-4-12 フルクス外苑